

# 盛岡農業改良普及センター組織体制

## ～令和2年度の紹介～

大規模化や担い手不足、技術の高度化などの課題解決に向けて、活動対象者を明確化し、経営体の所得向上や産地づくり、担い手育成などを進めるために、3課体制のもと支援を行います。

所長 わたなべ よしゆき  
渡辺 芳幸

代表電話  
629 - 6726

### 課長

経営指導課：むらかみ やすし 村上 和史（経営体育成、畜産振興）  
産地育成課：ふじわら かずみち 藤原 一道（野菜・果樹・花き・作物振興）  
地域指導課：いとう おさむ 伊藤 修（就農・起業支援）

### 経営指導課 電話：629-6733

○大規模経営の高度化や所得向上に向けた支援を行います。

集落営農・法人経営体：おがた しげる 尾形 茂 企業的经营体・GAP 推進：たなか えいき 田中 英輝

大規模園芸経営体：めときり か くまがい はつみ 目時 梨佳、熊谷 初美

畜産経営体・畜産振興：ささき たかし たて ゆか 佐々木 貴、舘 結香



### 産地育成課 電話：629-6730, 6732

○農協生産部会等の生産者組織支援を通して強い産地づくりを目指します。

作物振興：はやしじり たけひろ しもかわら さとる 林 尻 雄大、下川原 智

野菜振興：たかはし たくや かわはら しゅうすけ 高橋 拓也、川原 周祐

果樹振興：おいかわ じろ はた ひろかず 及川 耳呂、秦 広和

花き振興：あべ よう 阿部 陽



よろしくお願  
いします!!

### 地域指導課 電話：629-6726

○農村地域指導や新規就農者の確保・育成を目指します。

新規就農：ちば みゆき 千葉 美由喜 女性組織・家族経営協定：ふじわら ちほ 藤原 千穂

認定農業者・岩手県農業農村指導士組織活動：たかはし すすむ 高橋 晋

産直・農村起業：いまい ひろゆき 今井 裕之 青年組織活動：うえの みさき 上野 美咲



おしらせ

普及現地情報や産地情報が

# いわてアグリベンチャーネット で閲覧できます！！



1 「いわてアグリベンチャーネット」にアクセスします。

いわてアグリベンチャーネット

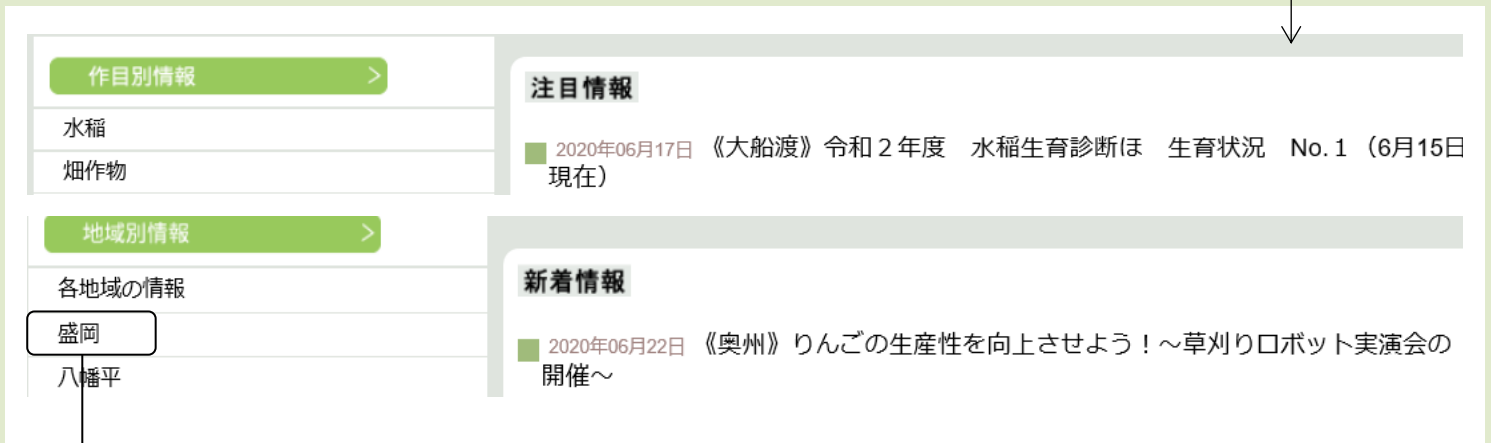
<https://i-agri.net/>

〈スマートフォンにも対応しています！〉



2 「各地域の情報」をクリックします。

クリック！



3 詳細については各項目をご覧ください。

農業改良普及センターの紹介

普及現地情報

産地情報

クリック！

盛岡の新着情報が閲覧  
できます！

- ・令和元年度岩手県普及活動年報をはっこうしました
- ・《盛岡》「花の需要を取り戻そう」1000本ユリでお迎え！
- など

各普及センターの「普及だより」が閲覧できます！

- ・《普及だより・盛岡》「普及センターもりおか」第199号
- など

県内各地の普及現地情報が閲覧できます！

- ・《一関》お気軽にご相談ください♪一関地方6次産業化個別相談会
- など

過去の産地・産直情報、人物紹介の閲覧ができます！

- ・《八幡平》人物紹介『頑張る農業ダンシ 岩手町 今松一貴さん』
- など



お問い合わせ：盛岡農業改良普及センター情報担当 TEL:019-629-6726 FAX:019-629-6739

# 盛岡の新着情報一覧（最新）

普及現地情報  
令和2年6月2日  
盛岡農業改良普及センター  
記述者 阿部 陽

## 「花の需要を取り戻そう」1000本のユリでお出迎え！

コロナウイルスの影響により花きの需要が落ち込んでいることから、雫石町花き生産者は、販売促進や生産物の展示など活発な活動を展開しています。

5月8日には雫石町内の公共施設や岩手県庁、盛岡合庁など多方面で、販売促進活動として、雫石町内の花き生産者団体「えほに会」が作成した母の日ギフトのフラワーアレンジメント、花束の販売を行いました。

また5月25日には、花きの長期保管技術実証事業（実施主体：株式会社大田花き）に

より、盛岡合庁内での展示が行われました。

これは、全農いわて県本部、JA 新いわて南部営農経済センターの協力により、雫石町産スカシユリの花もちを調べるものです。1,000本が合庁1階県民ホールと各フロアに搬入・展示され、壮観となっています。さっそく来庁者からの反応を頂きました。

今後は花を愛でてもらうとともに、日持ち調査、来訪者の反応などを調査します。

盛岡農業改良普及センターは、振興局農政部とともにこれらの活動を応援しています。



アレンジメントを販売する  
花き生産者、JA担当者



盛岡合庁内でのスカシユリ展示  
(花もち調査)

普及現地情報  
令和2年6月1日  
盛岡農業改良普及センター  
記述者 上野 美咲

## 水稻生育診断予察圃田植え、無事終了！

盛岡農業改良普及センターでは、5月21日に紫波町大巻、22日に雫石町長山で生育診断予察圃の田植えを行いました。生育診断予察圃は、各地域の主要品種の生育状況を把握し、それに応じた生育診断予察や技術対策を講じるため、毎年設置しています。

予察圃には「銀河のしずく」、「あきたこまち」のほか、紫波町では「ひとめぼれ」、雫石町では「いわてっこ」をそれぞれ移植しました。今後は、定期的な生育調査や収量調査などを行い、各調査結果を指導会で活用するほか、いわて

アグリベンチャーネットでも公開する予定です。

また、両圃場は新品種候補の栽培適性を検討する奨励品種決定調査圃と「銀河のしずく」の適正栽植密度調査の実証圃も兼ねています。この実証は、移植時の栽植密度の違いが収量に与える影響を明らかにすることを目的に昨年度から実施しています。

盛岡農業改良普及センターでは、水稻の収量及び品質向上に向け、引き続き調査結果に基づいた支援を実施していきます。



今年は、自動操舵田植機で移植をしました！  
(紫波町)